

みゆきコミュニティだより

第四十八号（最終号）

発行 御幸コミュニティ広報情報部
御幸地区コミュニティセンター
住所 亀山市東御幸町二〇〇三
電話・FAX 83-1-2322

御幸地区コミュニティ解散

コミュニティ会長 小林昭一

長年なれ親しまれてきた「御幸地区コミュニティ」が、新しく平成二十八年度四月より「御幸地区まちづくり協議会、略記 御幸地区まち協」に移行するため解散する運びとなりました。

「御幸地区コミュニティ」は昭和五十六年に設立され、建物は平成四年に竣工され平成八年に御幸地区集会所から御幸地区コミュニティセンターに名称が変更されました。この間にコミュニティ活動にご協力とご支援を頂きました皆様方に深く感謝いたします。

ところで、歴代コミュニティの会長やお手伝いいただいた皆様には、何で？そんなことをするのか、名前を変えてどうするの等、疑問に思っておられる方が数多く見えると思います。私も当初三重県でコミュニティという組織は亀山だけだと聞かされており変える必要があるのかと思っていました。今回の「御幸地区まち協」へ移行の目的は近年の社会的背景（人口減少、少子高齢化、価値観の多様化、生活環境の変化、等）から生じる新しい地域課題にコミュニティの組織体制を適合させるためです。

亀山市では平成二十四年ごろから「地区まち協」のモデル地区として2つの「地区まち協」が立ち上がり、その後他の地区のコミュニティでも次々と「地区まち協」が立ち上がっています。御幸地区も昨年十月よりまち協設立準備委員会を設置して「地区まち協」移行への検討を行ってきました。平成二十八年四月の総会で皆様のご賛同を頂き正式に「御幸地区まちづくり協議会」を発足する予定です。また、従来の「コミュニティ」から「地区まち協」に移行しても大きな組織変

更はなく、各専門部が行う行事内容も引き継がれる予定です。なお、本広報誌の名称も変更になる予定です。新しく発足する「御幸地区まちづくり協議会」に今まで以上のご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

ゲーム&ミニ運動会も明るく元気に健康づくりを終えて

レクリエーション・体育部長 小林 研一

傘を差さなくてもいいかな？程度の小雨の中、40名の皆様がコミュニティセンターに足を運んでいただきました。

2月13日（土）午後、健康づくりと親睦を目的に、今年も「ゲーム&ミニ運動会」を開催することができました。

骨密度や血管年齢を測定した健康教室では、結果に一喜一憂でしたが、今後の健康保持・増進の参考にしていただけたかなと思えました。

開会式後、参加者が紅白に分かれ、ゲームが開始されました。

今回は、団体戦での勝敗が、個人の得点で決まるというルールのため、全員が全種目に出場しました。予想より上手かった「球運びリレー」、ピンゴ賞



が出た「輪投げ」、布の袋が投げやすかった「バックコーゲーム」の中心（10点）を狙った「ターゲットゲーム」、イカ、カニ、タコ、伊勢海老、ウナギ、鯛を釣り上げる「魚釣りゲーム」を真剣かつ和気あいあいとした雰囲気の中で行うことができました。途中、温かい「おしるこ」をいただきましたが休憩をとりました。

すべてのゲーム終了後、結果発表が行われました。

団体戦優勝は「白」、一斉に拍手と歓声、個人戦一位は、大石伸子さん、二位は3人で宮崎勝さん、宮崎たつ子さん、石井敏郎さんでした。その他、隠れ一位賞、フービー賞が表彰されました。おめでとうございます。

午後4時、予定通りの時間に終了し、全員アクシデントもなく、ゲームの景品をおみやげに、小雨の中家路に帰っていただきました。



この行事は、亀山市の健康推進事業補助金をいただき実施することができました。参加された皆様から「今日は楽しいひと時が過ごせたわ」「あの方、久しぶりに元気な姿見られたな」などの声をいただきました。

今回は、子どもさんの参加も例年より多くにぎやかでしたが、もっと男性の方や若い世代の参加が増えるといいと思います。世代を超えて参加できる内容の工夫をしていく必要があると感じました。最後に、朝から一日、準備、運営、片付けをしていただきました役員様、高土様、後藤様、レク・体育部員様お疲れさまでした。



みゆき地区小運動会

片岡 光枝

立春も過ぎ平成二十八年二月十三日コミュニティセンターで、小運動会が行われました。

幼児から、老人まで、三世代輪投げ、魚釣り等、和気あいあいの楽しい、ひとときを、過ごすことができました。

わけても、子供たちの嬉々として、競技にのぞむ一生懸命な様子、姿は、ひとときわ、愛らしく心が和む笑顔のひとときでした。休憩の後、暖かいお汁粉を、よばれ、十六時閉会いたしました。

老いて今夕方、いとおいしく残りの日々を考える時、今日一

日無事参加できたことは、何と有難いことでしょうか。これも、ひとえに、若い方々、会長様を始め、皆様のおかげです。ありがとうございました。

一日一日が、平和な日本で、あります様、脱原発、世界平和を祈ります。少子化時代とは云え、今や、みゆきの子供たちの数も減り、参加も少なくなってきました。地域皆で、子供たちを、大切に守ってゆきましよう。

みゆきのミニコミュニティ会

4年2組

しがるのあ

2月13日にみゆきのコミュニティのミニコミュニティ会に参加しました。

わたしは、あか組で友達の伊東みさちゃんとは白組でした。どちらかが負けて、どちらかが勝つなんて、少しざんねんでした。まずは、玉はこびりしーをしました。

私は、練習では、玉を落としてしまいました。本番では落とさなかったのです、よかったです。

次は、輪投げをしました。輪投げは、ピンコすると、サラップがもらえます。友達がピンコして、サラップをもらっていたので、「すごいな。」と思いました。

私のばんになった時とてもみんなうりました。でも、ピンコしていろいろな声が聞こえて、とてもうれしかったです。次はバックゲームをしました。輪投げよりは、うまくいきませんでした。

他にもいろいろなゲームがあって、楽しかったです。



御幸地区まちづくり協議会設立準備委員会からのお知らせ

(第4号)

御幸地区まちづくり協議会設立準備委員会

巻頭の会長文中に記載されているように、「御幸地区まちづくり協議会」設立のため「御幸地区まちづくり協議会設立準備委員会」を昨年十月に立ち上げました。十二月十二日「御幸地区まち協」立ち上げの住民説明会を開催しました。その会議で、新しく発足する「御幸地区まち協」は、地域に存在するあらゆる個人や団体が自由にまちづくりに参加できる仕組みを持ち、自分たちの住む地域は自分たちでつくりあげるといふ「意識」のもと、御幸地区が抱える課題の解決、および、地域の活性化に向けて話し合う場を持つ「共同体組織を目指すこと」をご理解いただきました。

それ以降、役員や委員の会合を重ねて、現在、ようやく「御幸地区まち協」設立の見通しが立ってまいりました。検討内容や実施事項は毎月「準備委員会」からのお知らせを発行して皆様にお知らせしてまいりました。

御幸地区は龜山市の他の地区に比べて交通、買い物、インフラ設備、等比較的恵まれていると思われがちですが他地区と同様に少子高齢化、防災(昭和四十九年に浸水被害が発生)等多くの課題が潜んでいます。このまま放置すれば安心・安全な生活が脅かされる時期が来ることは目に見えています。このことは住民の皆様は肌で実感されていると思います。そこで、前号でも記載したように新しい「御幸地区まち協」には御幸地区が抱える課題の解決、地域の活性化に向けて検討する「検討委員会」を新たに設ける予定です。この「検討委員会」で得られる結果が今後の御幸地区発展の鍵となると思われれます。



新しく「御幸地区まち協」に移行する準備のため市から助成金を受け取りました。そのお金でまち協看板、テックカメラ、DVDプレーヤー、備品(机・椅子・収納棚・収納箱)、文房具、HP作成ソフト、横断幕、等を入手しました。四月以降皆様に活用していただけます。

今後の予定

平成二十八年四月二十三日(土)

◎ 「御幸地区コミュニティ」解散総会 十九時から

◎ 「御幸地区まちづくり協議会」発足総会 十九時半から

開催場所 御幸コミュニティセンター集會室

.....

【募集】

◎ 4月から発足予定の「御幸地区まち協」活動に協力していただける有志を募集しています。(参加いただける方は御幸地区コミュニティセンターの事務所まで声をかけてください。)

◎ 「御幸地区まち協」広報誌の名称(愛称)を募集します。

